

診察室		月	火	水	木	金	土
内科	1診	松本 寛	武田 昌	城戸 雄一	武田 昌	足立 卓哉 (肝臓)	武田 昌
	2診	熊谷 功	熊谷 功	松本 寛	福田 真治	熊谷 功	松本 寛
	3診	山本 晃	山本 晃		阿部 将也	阿部 将也	福田 真治
	4診	福田 真治	城戸 雄一			杉本 太路 (脳神経内科)	寺岡 朋子
	専門外来	西森 久和 (月2回・血液内科)		音成 秀一郎 (脳神経内科)	鈴木 英之 (消化器内科)	中村 重信 (月2回・パーキンソン)	榎野 博史 (月1回・腎疾患)
	専門外来	内田 治仁 (月2回・糖尿病)		中川 晃志 (循環器内科)	病院長午後外来	吉栖 正生 (月1回 循環器内科)	岩崎 良章 (月2回・肝臓)
脳神経外科	1診			東京大学			東京大学
	2診	竹信 敦充	竹信 敦充		竹信 敦充	竹信 敦充	竹信 敦充
	3診	坂口 雄亮	坂口 雄亮	坂口 雄亮	坂口 雄亮	吉岡 良介	
	会長診察室	寺岡 暉		寺岡 暉 (第2～5週)	寺岡 暉		
	専門外来		脳健診	総合診療	脳健診		てんかん外来 (月1回)
外科	1診	花畑 哲郎	蓮岡 英明	花畑 哲郎	蓮岡 英明	因來 泰彦	花畑／因來
	2診	蓮岡 英明	因來 泰彦	因來 泰彦	松本 聖	花畑 哲郎	岡山大学
	専門外来				大澤 晋 (心臓血管外科)		
整形外科	1診	松本 芳則	岡山大学	小坂 義樹	岡山大学	松本 芳則	周 鉅文
	2診						
	小児整形			小坂 義樹			
	形成外科			渡部 紫秀			岡山大学
泌尿器科	1診	志田原 浩二	志田原 浩二	志田原 浩二	志田原 浩二	志田原 浩二	志田原 浩二

2022.2.1 現在

専門外来			腎臓	土 (月1回)	10:00～12:00	予約制
糖尿病	月 (月2回)	14:00～16:00	てんかん	土 (月1回)	9:00～11:00	予約制
血液内科	月 (月2回)	9:00～12:00	心臓血管外科	木	9:00～12:00	予約制
消化器内科	木	11:00～12:00	小児整形外科	水	14:00～14:30	予約制
循環器内科	水	14:00～16:00	形成外科	水・土	10:00～11:00	予約制
病院長午後外来	木	14:00～15:30	総合診療科	水	14:00～16:00	予約不要
肝臓	金	9:00～12:00	ストーマ外来	第3木曜日	14:00～16:00	予約制
	土 (月2回)	9:00～12:00	瘻縮外来	火	14:00～16:00	予約制
パーキンソン病	金 (月2回)	14:00～16:00	脊椎脊髄外来	第2土曜日	9:00～12:00	予約制

地域医療連携室

外来・入院紹介 TEL／0847-40-3656
FAX／0847-40-3657

検査予約 (CT・MRI) TEL／0847-51-8045

寺岡記念病院

TEL／0847-52-3140(代) FAX／0847-52-2705

通所リハビリテーション「フォース」

TEL／0847-52-7655

本誌について、ご意見ご感想がございましたら是非お聞かせください。

ed/C.Makio
photo/A.Takenobu



〒729-3103 広島県福山市新市町新市37番地 TEL0847-52-3140(代)
Email/info@teraoka-hosp.jp http://www.teraoka-hosp.jp

社会医療法人社団陽正会 寺岡記念病院



Vol. 70
2022.02

てらおか メディカル・クォーターリー

てらおか メディカル・クォーターリー



TERAOKA MEDICAL QUARTERLY

Vol. 70
2022.02

社会医療法人社団陽正会
寺岡記念病院



素戔鳴神社

特集 新年のご挨拶

寺岡記念病院をはじめとする陽正会グループでは「新型コロナウイルス感染症」対策に最善を尽くしています。地域との繋がりを大切に、皆様が安心して生活できるよう努めていきます。皆様の健康の窓口となるよう、これからも頑張ってます。

メディカルクォーターリーは、WEBでも閲覧できます。



新年のご挨拶・・・・・・・・・・・・・P1
水頭症について・・・・・・・・・・・・・P7
手洗いを見直そう！・・・・・・・・・・・・・P10
看取りに携わり感じる事・・・・・・・・・・・・・P11
山菜を使ったレシピ！・・・・・・・・・・・・・P15
部署紹介 Vol.4・・・・・・・・・・・・・P17
理念・病院カレンダー・・・・・・・・・・・・・P18
外来診療表・・・・・・・・・・・・・裏表紙

地域からの信頼を取り戻し、 成長する病院へ



理事長
寺岡 謙

謹んで、新春をお祝い申し上げます。

旧年中は、患者さんとそのご家族を含む地域住民の皆様にご大変お世話になり、誠にありがとうございます。令和4年(2022年)も、寺岡記念病院をはじめとする陽正会グループの総力を結集して、地域医療と介護・福祉の維持・発展に向けて、一層奮励努力したいと考えております。引き続き、皆様のご指導とご鞭撻を、よろしくお願い申し上げます。

さて、まずは一昨年寺岡記念病院で起こった新型コロナウイルスによるクラスターについて、地域の皆様にご大変なご不安を与えてしまい、法人を代表してお詫びを申し上げます。地域の皆様方の信頼を毀損する事になり、痛恨の極み以外の何物でもありません。

令和3年は、そのクラスターの収束に向けた活動と共に幕を明けましたが、何とか2月には通常業務へ復帰する事が出来ました。またその後、第4波、第5波といった感染拡大の大きな波を迎えましたが、クラスター発生の反省を基に再発防止に努めました。しかしながら、一時期、下火となって

いた感染状況が、令和4年の年明けと同時に拡大し始め、第6波が見込まれている状況です。私共といたしましては、本年も最大限の感染対策を行い、注意深く病院運営として参りたいと考えております。

クラスター発生の際、我々の大きな力となったのが、地域の皆様方による多くの叱咤激励の声でした。厳しくお叱りを受けた一方で、多くの温かい声援を地域の皆様方から頂きました。また、地域の医療機関及び介護施設の皆様からも、物心両面にわたる多大なご支援を頂きました。更には、新市中央中学校の生徒の皆様から頂いた横断幕や寄せ書きによる声援は、我々にとって大きな心の拠り所となった上に、府中市の府中明郷学園の皆様からも応援の寄せ書きを頂き、本当に地域の皆様方に支えられて我々は存在できているのだと、強く感じました。頂いた様々なご支援を無駄にしないように、また、地域の皆様方からの信頼を取り戻せるように、地域医療の維持・発展に引き続き貢献してまいります。

さて、令和4年が始まりましたが、当院を取り巻く環境はますますその厳しさを増し

ています。医療機関・介護施設運営にはその地域の人口動態が深く関係しますが、福山市全体の人口で見ますと2030年までに約1万8千人の減少(2020年比で4%減)、2040年までに5万人近くの減少(2020年比10.7%減)が見込まれています。ただし、福山市北部(主に新市町、芦田町、駅家町)では、福山市街地と少々事情が違っており、2030年には約10%減、2040年には約20%減と、市街地よりも人口減少が急激であると予想しています。

一方で、高齢化もより一層進んでおり、その証拠に、当院に救急車で来院される患者さん、入院患者さんの70%が70歳以上、という統計の結果が出ています。これは、何も当院特有の現象という訳ではなく、地域医療を担う全国の病院で見られる現象です。以上の事から、寺岡記念病院のような地域医療を担う医療機関には、ある程度の専門性を維持しながら、他の医療機関、介護・福祉施設、行政と密接に連携し、高齢者に対する医療と介護を含む包括的な支援サービス提供体制の構築が求められています(地域包括ケアシステム)。

この構築のためには、医療機関側の思い切った発想の転換が必要となります。患者さんが来院するのを待ち、診察し、治療を行う医療機関という考え方から、地域住民の皆様のご生活そのものを支える医療機関という考え方への転換です。そして、これらの事を地域の様々な団体と密接に連携しながら、実行していく必要があります。寺岡記念病院では、これを新たな成長への好機と捉え、このような発想の転換を積極的に病院運営に反映するという作業を、今まで以上に追求していきたいと考えております。

今年は、十干では壬(みずのえ)で、十二支で寅(とら)の年です。壬寅(みずのえとら)は、「新しく立ち上がること」「生まれたものが成長すること」を表していると言われています。非常に縁起が良い年だなと思いますし、新しい病院のカたち、医療のカたちを追求するのにも最適だと考えております。

令和4年(2022年)が、皆様にとってのより多き年になりますよう祈念いたします。

ウイルスの変異



病院長 武田 昌

皆さん、明けましておめでとうございます。2022年の年頭に当たり、病院長より一言ご挨拶申し上げます。

もはや「コロナウイルス」の話題も日常茶飯事となり、マスコミでは妙に刺激的なタイトルの記事が多く見受けられます。この情報過多時代にあって、皆さんも賢く、玉石混交(ほとんどが石ですが…)の情報の中から正確で役立つもののみを選択してください。

このところ変異株である「オミクロン株」の話題が多いですが、「あー、いったいいつになったら変異株が出なくなるのかなあ?」と思われる方はいませんか?いつまで待っても変異はなくなりません。と言うのも変異するのがウイルスというものだからです。

「To err is human:人は誤りを犯すものだ」になぞらえて言えば、「To mutate is viral:変異するのがウイルスだ」ということです。

ご存じの方が多いと思いますが、ウイルスというのは遺伝子情報をカバー(入れ物)に入れただけの物体です。(果たして生物と言えるのか??)それがヒトなどの宿主の細胞に入り、その工場を利用して自分の遺伝子情報でみずからの複製をたくさん作って増えていく、というのがウイルスの「生きていく道」なわけ

です。非常にたくさんの複製を作る過程では、わずかな遺伝子情報の伝達エラーは避けられません。こうして生まれるのが変異ですが、その産物が「生存」に適していればどんどん増えて、新たな「変異株」となるわけです。この、どんどん増えるための条件は、ひとつは何とか従来の宿主側の防護策をくぐり抜けられること。これが出来れば感染はぐっと増えていきます。更に大切な条件は、「あまり宿主を痛めつけないこと」です!すぐに宿主を殺したり、重症者にしてしまうようでは、宿主が元気で外に出歩いて、自分(ウイルス)を振りまいてくれません。このため新たに増える変異株は「感染力が強く、あまり重症にならない」というパターンが多くなります。むやみやたらに変異を怖がるのではなく、正確な知識がここでも要求されますね。

コロナウイルスの内服薬も出来てきていますが、これがしっかりと効いて、短い期間で治る様になれば、コロナもインフルエンザのように、ヒトと共存するウイルスになっていくことでしょう。はやく制限のない(あるいは少ない)生活が戻ることを祈念して挨拶を終わります。皆さんにとって2022年が、より良い年でありますように。

2022年—癒しの共生体と共に—



会長 寺岡 暉

2022年、令和4年を迎えました。新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行して3年目となるこの年のご挨拶が、名実ともに新年を寿ぐ謹賀のご挨拶となることを祈ります。とは言え、この原稿の執筆時には、変異株オミクロンが感染症ニュースの主役になっていて、まだ当分の間、新型コロナに関する新しい話題が続くことでしょう。

つい先ごろまで、世の中の話題は高齢化社会、その先の超高齢社会の論議で持ち切りでした。その高齢化のもとで、2016年4月に社会医療法人陽正会と社会福祉法人新市福祉会とは福山市新市町に「多世代交流施設ローカルコモンズしんいち」を設立し、癒しの共同体の具体化に向かって、新たな事業に取り組んで来たところです。そして2021年12月、次世代の新理事長のもとに、府中市において「介護医療院」を新設して、より進化した形で「多世代交流施設ローカルコモンズふちゅう」を創設しました。「ローカルコモンズ」は、地域医療と多世代交流と癒しの共同体を統合し、更にまちづくりを意識した医療と福祉と生活の共有地、即ち共生体を目指した取り組みです。

しかし、現実の社会は静かな森や池のご

とく平和で安寧な社会であり続けることはできません。パンデミック(世界的流行病)や災害は不可抗力的に社会を襲い、一旦起これば、その影響は社会全体を巻き込み大きな社会不安を惹き起こします。此度の新型コロナウイルス感染症がその現実の姿を如実に示しています。しかも第1波、第2波、第3波、…そして第6波と次々と津波のように執拗に襲って来ます。私たちは、嫌と云う程その執拗さを体験させられています。まさにウィズコロナ社会に対応しなければなりません。

このような、高齢化に伴う人口問題と感染症パンデミックが同時発生しているのが、現在の社会です。これに対応するわれわれの組織は、病院・入所施設・交流施設・診療所など急性期医療から回復期・生活期・衰退期・長期療養期までの様々な段階や局面に臨機応変かつ切れ目なく、総合的に対応できる総合医療ケアグループです。即ち、陽正会グループの医療・介護は急性期、感染症、災害、高齢化などの広い意味での病変に、同じ医療理念で対応できるより進化したケアミックス総合医療であり、癒しの共生体を目指す取り組みなのです。

看護部長 新年のご挨拶

年頭に寄せて



看護部長 中村 三鈴

皆さま、新年あけましておめでとうございます。

久しぶりに新年の挨拶をしたような？聞いたような？気がしております。昨年を振り返ると正月どころではなく何をしていたかも思い出せないほど、奔走していたのだと思います。

昨年12月の会議で理事長が言われていた言葉を、看護師長会・看護主任会と看護職員に伝えたいと思っています。その言葉は…「2021年度は《忍》、耐えて過ごした1年でした。2022年度は《挑》、挑むにしましょう」と。

前任の看護部長が『3つのC』を人生のモットーにしていたことを思い出しました。

Change-「変化」…変化とは、周囲の環境、社会情勢を踏まえ自ら変わること

Chance-「機会」…機会とは、様々な人との出会いや経験、学びを積極的にキャッチすること（大事なものは目を背けず積極的に掴もうとする姿勢です）

Challenge-「挑戦する」…既成事実にとらわれず改善・改革を実施すること（思うだけでなく行動に表すことが大事です）

昨年からのコロナの影響は強く、多くの

事（多くのもの）を失いました。今後もコロナが収束することは難しくコロナとの共生を考えていかななくてはなりません。このことは私たちを取り巻く社会環境の変化です。コロナでダメージを受けた事実をこのまま終わらすことなく、病院全体が変わるチャンスとして捉える。そして、今年度は「何ができるか」「どうしたら出来るか」を考えるステップとしたいと考えています。

とは言え、では何から取り組めばいいのか？実は今年度『寅年』は私の年でもあります。（簡単に年がバレますが…。成人式を数回迎えたことになるのでしょうか）

トラのように、悠然と構え静かに獲物を狙うことはしませんが、看護の現場で働く看護師が、笑顔で元気よく患者さまに接するよう、ソフト面・ハード面の整理をしながら足元をかためたいと思います。

地域の皆さまに愛される、活気ある、そして「ひとを尊重する」看護部であり続けられるよう病院の中のチームの一員として「和」を重んじたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

事務部長 新年のご挨拶

新たなことにチャレンジ



事務部長 山本 拓也

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、患者さん、ご家族の皆様、また地域の皆様に多くのご支援ご協力を賜り、ありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大から既に二年が経過しようとしています、いまだ終息が見えておらず、まだまだこの闘いは継続しそうな状況です。この新型コロナウイルスは、次々と変異し、増殖し続けています。昨年は「デルタ株」が猛威を振るい、そして今年は「オミクロン株」の感染が驚異的なスピードで拡大しております。このオミクロン株は非常に感染力が強く、第五波を上回る勢いで感染が広がることが予測されています。今まで以上に感染対策には十分に気をつけていかなければなりません。当院では、職員の院外での行動自粛等を含め様々な制限をお願いしています。患者さんやご家族の皆様にも、検温や手指消毒、新型コロナウイルス関連の問診、入院患者さんの面会制限等引き続きのご協力を改めてお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症を契機に、世の中は急速に変化し、また進化しています。今までの延長では変化のスピードに追いつかず自

ずと限界に達します。一方、我々には前身の寺岡醫院から76年間脈々と受け継がれた大きな経験や財産があり、これをもって今まで数々の変化に対応し、乗り越えてきた実績があります。今回もこの変化をチャンスと捉え、皆さんと共に新たなことにスピード感をもってチャレンジをしていきたいと思います。

2022年は、診療報酬改定の年です。コロナ禍を契機に変化する病院や医療を取り巻く様々な制度へ対応するため、より正確な情報と知識を習得し、これまで以上に安全かつ良質なサービス提供ができる健全な病院となれるよう全職員日々努力し、また新たな事へチャレンジをして、成長していく所存でございます。

今年は壬寅（みずのえとら）です。「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」といった縁起の良さを表しているとも言います。新しい事にチャレンジしたものがより良いものへと発展する、まさに絶好の年でもあります。

最後になりましたが、皆様のご健康とご活躍を祈念して、年頭の挨拶とさせていただきます。

水頭症について



寺岡記念病院
脳神経外科
坂口 雄亮

みなさま、水頭症という病気を聞いたことはありますか？
耳慣れない言葉かと思いますが、実は高齢者に多い病気です。
最近、歩きにくくなった。物忘れが始まった。
おトイレが間に合わなくなった。
そんな症状がみられたら、もしかすると水頭症かもしれません。

1. 水頭症とは？

まず、脳は頭蓋骨の中で脳脊髄液という無色透明の液体に浮かんでいます。脳脊髄液は絶えず産生・循環・吸収され、頭蓋内には一定量が保たれています。しかし何らかの原因によって脳脊髄液が頭蓋内に過剰に溜まることがあります。脳脊髄液が溜まってしまったことで脳の機能が損なわれた状態を、水頭症と言います。

水頭症にはいくつかの種類がありますが、今回は特発性正常圧水頭症を紹介します。

(特発性：原因がわかっていない、正常圧：脳脊髄液は溜まっているけれども圧力が高いわけではない、を意味します。)

主に高齢者に発症するもので、患者さんは全国に40万人近くいるとされます。早期に適切な診断・治療が行われれば症状の改善が期待できる病気です。



2. 症状は？

特発性正常圧水頭症の症状は、歩行障害・認知症・尿失禁の3つと言われています。冒頭の3つの問いかけですね。

特に歩行障害は最も多く、最初に出る症状であると言われています。歩行障害の特徴は、左右の足を広げて、すり足になり、歩幅も小刻みになることです。方向転換の際によろめきが強くなり、ときには転倒してしまうこともあります。

症状が進行していくと、認知症(意欲の低下、行動・思考の緩慢が目立つ)や尿失禁(トイレが近くなったり、漏らしてしまう)などの症状が出てくるようになります。

勘のいい方はお気づきかもしれませんが、どれも加齢に伴ってみられる症状と似ているのです。そのため、早期に気が付かれる方は少なく治療を受けられない方も多くおられます。

発症を見逃さないで！

特発性正常圧水頭症



健常者の脳室

水頭症の脳室



歩きにくさ



集中力・判断力低下・物忘れ



頻尿になる

3. 診断と治療

まずは頭部CTやMRIによる検査を行い、脳脊髄液が溜まった状態でないか確認します。ここで水頭症が疑われた場合、次の段階として髄液排除試験(タップテスト)を行います。読んで字の如く、溜まっている脳脊髄液を少量排除するわけです。このことで、悩んでおられる症状が改善するかを観察します。ここで改善が見られた場合には、手術による治療を提案することになります。



まとめ

特発性正常圧水頭症はすぐに生命にかかわる病気ではありません。しかし、うまく歩けない、認知症が進んできた、おトイレが間に合わない、というのはどれをとっても患者さん・患者さんの家族にとって大きな負担となります。

これらの症状は、特発性正常圧水頭症が原因であった場合には治療によって改善が期待できます。症状が進行した場合や他の合併症が多い方では、治療による改善が望めないこともあります。早期発見が重要ですので、歩行がおかしいと感じたら、ご相談ください。



手洗いを 見直そう!

感染管理認定看護師
佐藤 正明



2019年12月、中国の湖北省武漢市で発生した原因不明の肺炎が、新型コロナウイルスと判明してから約2年が経過しました。

テレビやインターネットなどでは、手洗い、マスクの着用、人との距離を保つ、こまめな換気など、基本的な感染対策の徹底をという言葉をよく耳にし、「正直、聞き飽きたよ」「わかってるよ」と思われている方が多いのではないのでしょうか。

未知の感染症であった新型コロナウイルスもこの2年間で様々なことが分かってきました。過剰に恐れるのではなく、今一度ご自身の感染対策を見直してみたいかがでしょうか。

感染対策の基本として、今回は『手洗い』についてお話します。手洗いは感染予防において重要な対策の一つです。

下の手形の写真は、一見綺麗な手から検出された細菌の集まりです。私たちの身近にあるドアノブや手すり、リモコン、スイッチ、スマートフォンなどに触れた後の結果が左の写真です。

これらの環境表面は多くの細菌で汚染されています。右の写真は30秒以上流水と石鹸をもちいて手洗いをおこなったものです。明らかに細菌の数が減っているのがわかります。



※白い部分が
細菌の集まり



**手洗いで重要なポイントが、
2点あります。**

- 30秒以上かけて手洗いをする。
- 指先や指の間、親指、手首などくまなく洗う。

神経質にならずに、適度に洗いましょう。

ただし、手の洗いすぎや熱いお湯での手洗いは手荒れの原因になるので気をつけましょう。

外出から帰宅後や食事をする前、トイレ後、手が汚れている場合の手洗いを忘れずに行いましょう。

自分が感染しないことは大切な人を守ることにもつながります。



看取りに携わり感じること ～アドバンス・ケア・プランニングについて～



看護師 田邊 直人

看護師として病棟に勤務する以上、時として最期を看取らせて頂くことがあります。

多くの方は私よりも長く人生を生き、中には自分よりも若く人生に幕を引かれる方もおられます。それら全ての関わりにおいて、自分自身にとってとても尊く、意味深く、自らのあり方を考える機会となっています。

この世に生を受ける者全てに平等に訪れる**“最期の時”**をどのように迎えるか、それは誰にも分かりえない事です。老いの順序に従い、弱り、次第に生命力を失っていくのであれば、それが最も自然な流れなのかもしれません。ですが、病気や事故、あるいはそれ以外のケースも含めて、自身の人生の終末がどのように描かれるかを知ることはできないのです。

いつの時代もニュースでは常軌を逸した凄惨な出来事が報道され、私がまだ社会人として別の仕事をしていた若かりし頃は、そのたびに心のどこかで「自分でなくて良かった」と感じていました。テレビの中の出来事は現実味を帯びず、当時の私には「命の尊さ」よりも「生きている事の安堵」が勝っていたのです。

ですが、こうして人の最期に関わらせて頂くようになって「逝くこと」「遺されること」の節理や人との関わり価値などを考えるようになりました。

自身の命は、家族や関わる人達にどんなふうに影響を与えるか。自身の死を受け入れ、遺された者はどんな感情を抱くのか。

大切な人を想い、自身のあり方を問い、皆様はいずれ必ず訪れる「最期の時」の理想を描くなら、どのように考えられますか。

今回は「アドバンス・ケア・プランニング」(ACP)について考えてみましょう。

アドバンス・ケア・プランニングとは

厚生労働省が「人生会議」と愛称している、アドバンス・ケア・プランニングとは一体何なのかを大まかに説明すると、

「病気などで療養中に病状の進行に伴い自身で医療やケアについての方針を決定出来なくなる前に、本人と家族、医療従事者や介護者などと共に話し合い決定しておく事を言います。」また、同時にその際に本人の意志を代理する者(キーパーソン)について決定しておくなどの話し合いも行います。終末期を含めた、**こうした話し合いや決定は希望する時に繰り返し行い本人の意思や望む終末期を支援する為に行われます。**

当院でも、必要な時に「医療・ケアに関する私の希望」としてご本人、ご家族にお伺いさせて頂いています。



リビングウィルとの違い

よく似た表現に「リビングウィル」という言葉があります。

こちらも生前に自身の終末に対して、希望や方針を決定することを示します。「アドバンス・ケア・プランニング」との大きな違いは、「遺書」としての意味合いが強く特定の医療機関や介護施設に対してのものではないこと、また、他者と繰り返し話し合い、都度更新する事が前提ではないことが挙げられます。



言葉や態度はなくとも、確かな意思表示

実際に臨床では患者の容態が急変する、という事態が起こる事があります。予測しなかった病状の急激な増悪などにより意思疎通はおろか、生命の維持も難しい状況になります。

そうした時に我々は優先的に「アドバンス・ケア・プランニング」についての有無を確認します。本人の意思と選択を優先的に支持し、その人の望む将来を支援するよう努めます。





「救命処置」と「延命治療」の違い

この2つの言葉の違いを、皆様はどのように考えますか。

「死期」が迫った時、その時に行われるのは「救命」なのかそれとも「延命」なのか。

一般的には、

救命処置とは

回復する見込みがあると判断して行われる蘇生処置や投薬治療。気管切開(喉に穴を開けて気道を確保すること)や呼吸器を利用したり、血圧を上げる薬を投与することもあります。

延命治療とは

将来的に回復が見込まれない場合に、血圧を上げる薬や点滴などで心臓の働きを助けたり、機械(呼吸器など)を使って呼吸をサポートしたりなどして、出来るだけ死期を遅らせるように働きかけることを言います。放射線を利用したり、手術を行うケースもあります。

アドバンス・ケア・プランニングが行われていない時もあるのです

病気や怪我の回復過程で誰もが予測し得ない病状の増悪を来し、今まさに生命の危機を迎えている時にアドバンス・ケア・プランニングが実施されていないことも多くあります。そうした時に携わる医療者(救急隊や病院スタッフなど)は出来るだけ生命の救済に尽力します。

常日頃から死を意識して、万が一の時を想像しながら生活する人はそういないと思います。また全ての病気や怪我が「死」と直結するわけではないのも事実です。

その結果、状況をにわかに受け入れ難いことも起こります。生命が救済されても本人や家族が抱く感情が決して肯定的でないことも起こり得るのです。

大切な人を想えばこそ、今一度自分の最期(生命)を考える

こうした問題はとてもデリケートで何が正しいということではないと考えます。

昨今のコロナ禍で多くの人が生活の変容に迫られ、仕事や家庭環境に変化をきたした人も多くおられると思います。否応なしに感染症や健康(心と身体の)に興味や意識を向けることになったと思います。

災害や流行感染症、生活様式の変化など目まぐるしく移り変わる社会で「心身ともに健康」であることがいかに大切かを感じます。自らの健康が家族や関わる人の健康や生活に大いに関係すればこそ、「自分の健康(生命)は自分の為だけではない」と思って頂きたいのです。

看護師として「生命」に携わる仕事をするということ

現在、日本では病院が「終の場所」となる割合は8割程度とされています。戦後間もない1950年頃には、約9割の方が自宅で看取られていたそうです。高度成長期を迎え医療水準が高まるにつれて現在、自宅で亡くなる方は1割ほどになっています。では8割の人が「病院での最期」を望んでいるかということ、実際は約7割の方(政府統計※による)が「**自宅で最期を迎えたい**」と回答しています。住み慣れた我が家、家族の元で最期を迎えたいと考えるのは至極当然のことでしょう。

我々はこうした想いも汲み取りながら、なるべく孤独感を感じないように、苦痛がないように看取りをさせて頂いています。ですが昨今の新型コロナウイルス感染症の流行により、以前のように面会ができない状況となり、入院患者さんは一層の不安や孤独感を抱かれています。

今、その人がどうありたいか、その人らしい生き方を支えるにはどうしたら良いか。多くの患者さんの一人一人がそれぞれの家族のかけがえのない一人であり、唯一であること。日々、悩み考えながら時折いただく患者さんご本人やご家族の「ありがとう」というお言葉に励まされています。



おわりに

私が育った時代は戦争を経験された方が多く存命されていて、教育の中で「命の大切さ」と「戦争」は対にして学んだものです。我が国の戦争時代を肌身に知る人の言葉は重く、生きることやご飯が食べられることのありがたさを痛感できるものでした。現代の日本は武力をもった戦争とは縁遠く、「戦争」に変わって「災害」や「事件、事故」による生命の危機が問われ、食べることについては危機感すら感じなくなったと言っても過言ではないでしょう。

これからを担う世代は、各々がどんな「死生観(しせいかん)」を抱くでしょう。「命の尊さ」をどう説く時代になるのでしょうか。全ての医療がリモートで行われ、在宅での看取りがまた9割を超える時代が訪れるかもしれませんね。

皆様の健康の一助となれば幸いです。

※ 平成29年度人生の最終段階における医療に関する意識調査

山菜を使ったレシピ！



皆様、こんにちは！栄養管理室です。

晴れた日の日差しや、雪解けの山に新芽が出始めると、心が躍りますね。今回のテーマは「山菜」です。春の訪れと共に出回り始め、独特の香りと苦味を楽しめる

「山菜」についてお話をします。アクが強く苦みがあるものが多い山菜ですが、その苦みに含まれる成分には「冬の間に溜まった身体の毒素を排出する効果がある」とも言われています。まさに、昔から伝わる自然のパワーを感じ取れますね。

ここでは、手に入りやすい山菜5種をピックアップしてみました。



1. たらノ芽

タラノキの新芽のことで、「山菜の王様」とも呼ばれています。

【下処理】水で洗い、袴の部分や茶色い部分を取り除く。さらにトゲが気になる場合は、包丁の背を使って削ぎ落とす。

【おすすめの調理法】天ぷら、和え物



2. ふきのとう

ふきの小さな蕾が、いくつも集まった花芽の部分です。大きくなるにつれて苦みが強くなるので、小ぶりのものを選びましょう。

【下処理】水洗いし、黒ずんだまわりの葉を取り除く。沸騰した湯1リットルに対し、重曹小さじ1を加えた湯で5分～10分ゆで、冷水にさらす。冷水にさらすことで、鮮やかな緑色を保てます。

【おすすめの調理法】

天ぷら、ふき味噌、佃煮

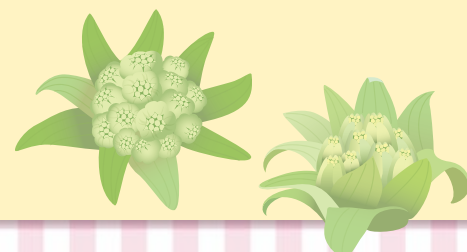
ふき味噌のレシピ

材料

ふきのとう…………… 7～8個
味噌・みりん・砂糖…………… 各大さじ3
(お好みで加減してください)
油(またはごま油)…………… 適量

作り方

- ①お好みでどちらかを選んでください
【香りや苦味を楽しみたい場合】
ふきのとうを半分に切り、水にさらしてアクを抜く。
【香りや苦味を抑えたい場合】
ふきのとうを茹でてから、水にさらしてアクを抜く。
- ②水気をとって細かく刻み、油で炒める。
- ③味噌・砂糖・みりんを入れ、弱火で練り混ぜながら煮詰める。



3. うど

うどの持ち味は、独特の風味とシャキシャキとした歯触りです。

【下処理】硬い根元部分を取り除いて短毛を洗い流し、硬い皮は削り取る。

少しアクがあるので、生のまま食べる場合は切ってから酢水に15分～20分ほどさらす。

茹でる時も、少し酢を加える方がより白く綺麗に仕上がる。

シャキシャキした食感を残すよう、茹で過ぎないように注意する。

【おすすめの調理法】酢の物、和え物、金平

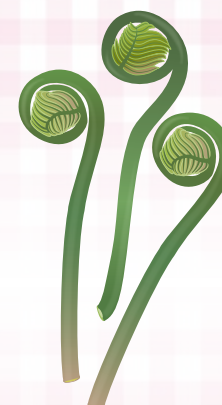


4. ぜんまい

芽の部分が、渦を巻いた形状のぜんまい。繊維質が豊富なので、食感を楽しめます。

【下処理】ぜんまいの綿と先端を取り除き、水洗いする。鍋にぜんまいがかぶる位の水を入れて、沸騰させる。沸騰したら水1リットルに対して重曹大さじ1を鍋に入れ、ぜんまいを入れる。すぐに鍋を火から下ろし、ぜんまいが浮かないように落とし蓋をして、そのまま一晩置く。アクが水に溶けて茶色っぽくなるので、水を交換してもう1日置く。さらにもう1回水を交換する。

【おすすめの調理法】煮物、ナムル



5. わらび

ぜんまいと同じ植物の一種で、山の奥まで入らずとも生えていることから、比較的採りやすい山菜です。わらびと聞くと「わらび餅」を思い浮かべる方も多いかと思います。まさにこの山菜を指していて、わらびの根からわらび粉を作り「わらび餅」が出来ています。しかし、現在はわらび粉のみで作っている「わらび餅」は非常に少なく、市販で出回っている無色透明なものは、でんぷんを使用しているものがほとんどのようです。

【下処理】根元の硬い部分を取り除き、水洗いする。鍋にわらびがかぶる位の水を入れて、沸騰させる。沸騰したら水1リットルに対して重曹大さじ1を鍋に入れ、わらびを入れる。すぐに鍋を火から下ろし、わらびが浮かないように落とし蓋をして、そのまま一晩置く。鍋から取り出して、水洗いをする。

【おすすめの調理法】煮物、お浸し、酢の物、漬物、味噌汁



部署紹介 Vol.4

当院の各部署の紹介をします。



地域医療福祉支援センター

みなさまの暮らしと医療の連携を担っています。
病院の窓口として、地域、医療、介護とみなさまを繋ぐ「懸け橋」です。明るく、笑顔で頑張っています。



診療情報管理室

院内の診療情報を管理しています。
各種診療情報の保管に携わっています。安全、的確に必要な情報を早急に提供できるように心掛けています。



医事課



受付や会計などの医療事務を担当しています。
明るく、親しみやすいスタッフで、親切・丁寧な対応を心掛けています。

託児所



病院スタッフのお子さんが通っています。
子どもたちの成長を見守りつつ、安心安全な保育に取り組んでいます。散歩に出かけたら気軽に声をかけてください。

情報管理課

コンピューター管理を中心に行っています。
主にPC関連の裏方業務を行っています。たった2人で頑張ってます！

事務部

院内の総合的な管理を行っています。
総務、経理、施設管理等、重要な役割を担っていることから、業務が円滑に遂行されるよう心がけて業務にあたっています。

通所リハビリ

介護保険を使用した通所リハビリを提供しています。
利用者の日常生活が主体的・活動的に維持できるお手伝いをスタッフ全員で取り組んでおります。リハビリ室からの眺めはとても良いですよ。

寺岡記念病院 理念

トータル&シームレスケア 全人的で切れ目のない医療提供の推進

スローガン

保健・医療・福祉の統合とネットワーク形成による新地域医療を実践しよう

方針

- ①地域住民の健康と安心を守る医療機関であり続け、健康地域づくりに貢献します
- ②医療を受ける人の個々のニーズに応える医療を提供します
- ③安全で良質な医療提供のためスタッフの職務能力と人格能力を高めます
- ④社会の要請に対応した医療を提供します
- ⑤長期的に安定した医療を提供するため健全な経営を行い病院の総合力を高めます

2022年 寺岡記念病院 カレンダー

2月							3月							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5			1	2	3	4	5						1	2
6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28						27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

5月							6月							7月							8月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4						1	2			1	2	3	4	5	6
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	
29	30	31					26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31				

9月							10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3							1			1	2	3	4	5					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31

休診日のご案内

①日曜日・祝日 ②年末年始 (12/31・1/1・2・3) ③お盆 (8/15・16)

外来受付時間

●平日／午前8:30～11:30 ●土曜日／午前8:30～11:00

外来診察時間

●平日 (月～土)／午前9:00～12:00 午後1:30～5:30

日曜・祝日
以外の
休診日